

資料 1 - 1

安城市ゼロカーボンシティ推進戦略 答申案について

令和 7 年 3 月 1 4 日 安城市環境審議会
環境都市推進課カーボンニュートラル推進室



ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 **安城**

1 パブリックコメント意見募集結果について 【資料1-2】

2 安城市ゼロカーボンシティ推進戦略（案）
本編について 【資料1-3】

3 安城市ゼロカーボンシティ推進戦略（案）
概要版について 【資料1-4】

4 答申書（案）について 【資料1-5】

5 公表について



1 パブリックコメント意見募集結果について

パブリックコメント

実施期間：令和6年12月16日～令和7年1月14日

意見提出人数：6名

意見総数：80件

【資料1-2】



3

ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 **安城**

1 パブリックコメント意見募集結果について

意見区分

A：ご意見を受けて加筆・修正したもの 17件

B：ご意見の考え方が現行案に含まれていたもの 3件

C：現行案とおりとしたもの 17件

D：案に関連する質問など 43件

【資料1-2】



ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 **安城**

1 パブリックコメント意見募集結果について

ご意見①【資料1-2（2，3，6等）】

イラストや写真を追加しイメージしやすくすること。

変更前

▶食品ロスはどのくらいある？

食品ロスとは、まだ食べられるのに捨てられる食品のことです。

日本では、一人当たり「お茶碗約1杯分(約103g)の食べもの」が毎日捨てられていると言われています（令和4年度推計）。

安城市の可燃ごみの10%程度を厨芥類が占めており、その中に含まれる食品ロスを減らすことで、ごみ処理に要する二酸化炭素排出量が削減できます。

手前どり等により賞味期限の近いものから購入する、無駄なく食べ切れる量を買う、家にあるものを思い出しながらかう等、かう段階から食品ロスを減らしましょう。

出典：食品ロスについて知る・学ぶ（消費者庁）、一般廃棄物処理基本計画（令和5年2月）（安城市）

変更後

▶食品ロスはどのくらいある？

食品ロスとは、まだ食べられるのに捨てられる食品のことです。

日本では、一人当たり「お茶碗約1杯分(約103g)の食べもの」が毎日捨てられていると言われています（令和4年度推計）。

安城市の可燃ごみの10%程度を厨芥類が占めており、その中に含まれる食品ロスを減らすことで、ごみ処理に要する二酸化炭素排出量が削減できます。

手前どり等により賞味期限の近いものから購入する、無駄なく食べ切れる量を買う、家にあるものを思い出しながらかう等、かう段階から食品ロスを減らしましょう。

出典：食品ロスについて知る・学ぶ（消費者庁）、
一般廃棄物処理基本計画（令和5年2月）（安城市）

■「AnjoたべRing byタバスケ」

事業系食品ロスを削減するため、「まだ食べられる食品」の情報を地域のユーザーに提供するサービスです。詳しくは安城市のHPを御覧ください。



<https://www.city.anjo.aichi.jp/kurasu/gomi/namagomi/documents/syokuhinloss.html>

【資料1-3】P44



5

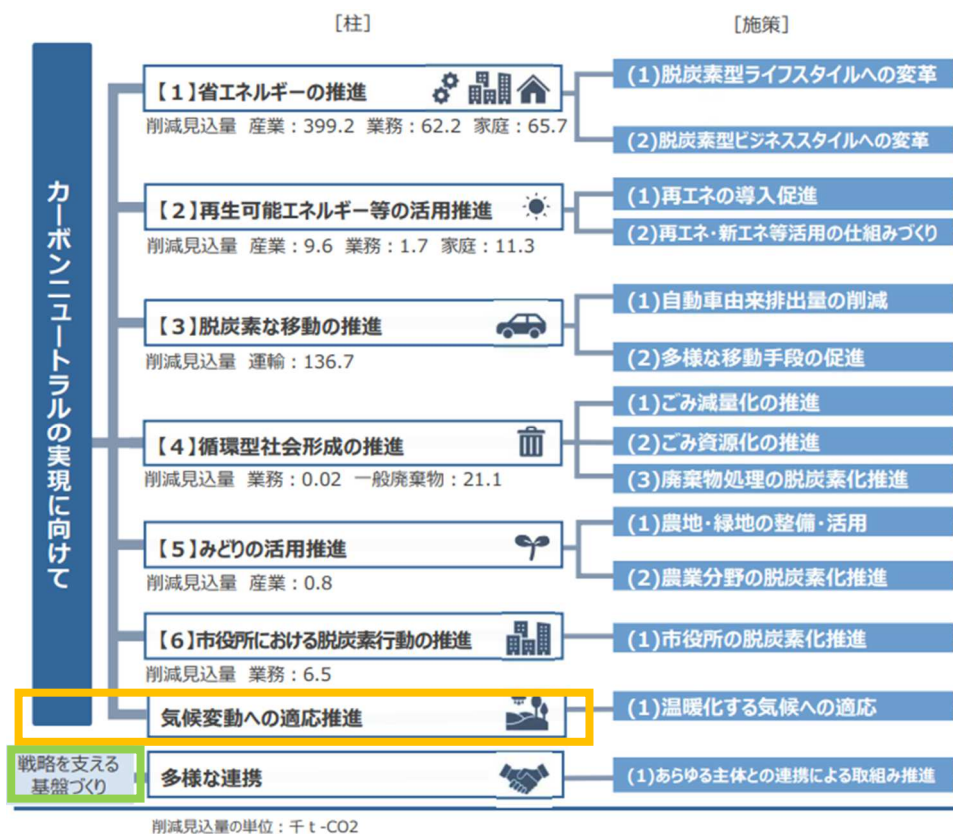
ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 **安城**

1 パブリックコメント意見募集結果について

ご意見②【資料1-2 (21)】

気候変動への適応推進は、ゼロカーボンシティとは関係がない。

変更前



変更後



【資料1-3】P31

1 パブリックコメント意見募集結果について

ご意見③【資料 1 - 2 (66)】

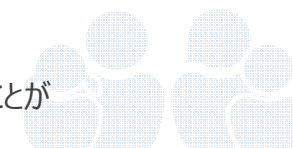
「市民」、「事業者」、「行政」のそれぞれの役割は、どこかに記載されているのでしょうか。記載されていれば、記載されているところを回答していただきたい。

▶ 主体と役割

本戦略の取組みの対象は、市民・事業者・市等あらゆる主体とします。主な役割は以下の通りです。

▷ 市民

市民一人ひとりがカーボンニュートラルについて関心と理解を深め、日常生活の中で、できることから積極的に実践することが期待されます。（市民団体も含みます。）



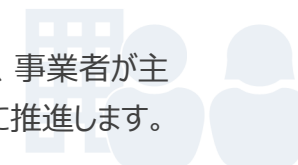
▷ 事業者

事業活動において法令に定められた事項を遵守するほか、廃棄物の減量化、再生資源の積極的な利用、温室効果ガス排出量の削減など、環境への負荷の低減に努め、脱炭素経営も積極的に行うことが期待されます。



▷ 行政

施設の整備などの事業や日常の業務を行うにあたり、カーボンニュートラルに努め、率先的に行動します。また、市民、事業者が主体的に取り組む地域の活動を支援し、各主体間の協力を促進するとともに、地域の状況に応じた環境施策を積極的に推進します。



【資料 1 - 3】 P8



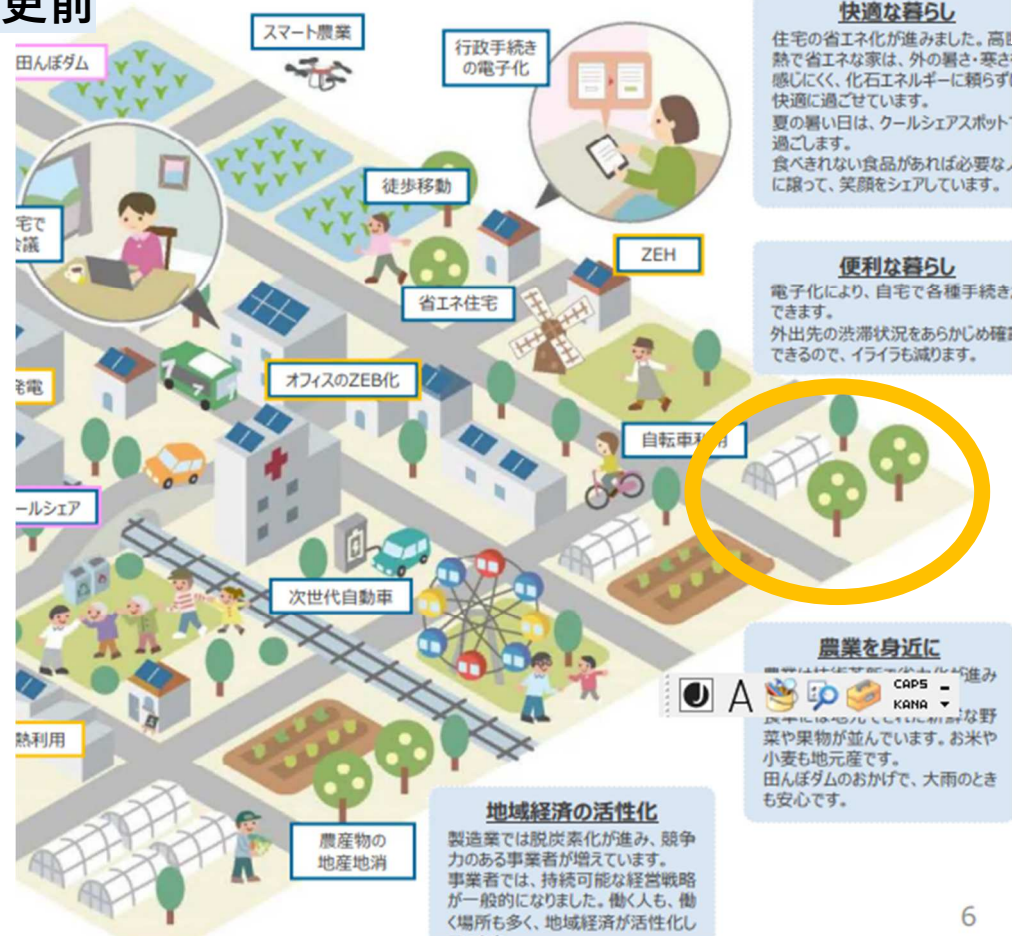
ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 **安城**

1 パブリックコメント意見募集結果について

ご意見④【資料1-2 (71)】

戦略本編P6で工場の様子が見えづらい。

変更前



変更後



【資料1-3】P6

2 安城市ゼロカーボンシティ推進戦略（案）本編について

安城市ゼロカーボンシティ推進戦略 （案）

【資料 1 - 3】



3安城市ゼロカーボンシティ推進戦略（案）概要版について

目的：すぐに内容がわかる

用途：市公式ウェブサイトにて公表

内容：戦略策定の背景

安城市の目指す姿

二酸化炭素の削減目標

戦略体系

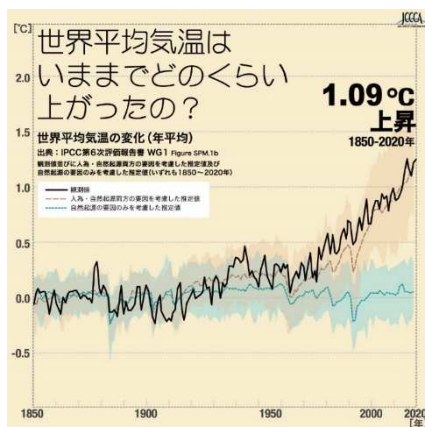
【資料1-4】



ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 **安城**

1. 戦略の背景と安城市が目指すもの

▶地球温暖化対策の強化が求められている



出典：全国地球温暖化防止活動推進センター（JCCCA）

- 異常気象が発生しやすくなったり、生態系等への影響が報告されるなど、地球温暖化の影響が顕著になってきている。
- パリ協定の採択など、地球温暖化対策への機運が高まっている（世界はカーボンニュートラルへ）



出典：脱炭素ポータル カーボンニュートラルとは（環境省）

▶安城市の状況

- ゼロカーボンシティ表明（令和4年5月）
- 本市は、地方公共団体実行計画（区域施策編）及び地域気候変動適応計画を、安城市環境基本計画に包含させ、地球温暖化対策を進めてきた。



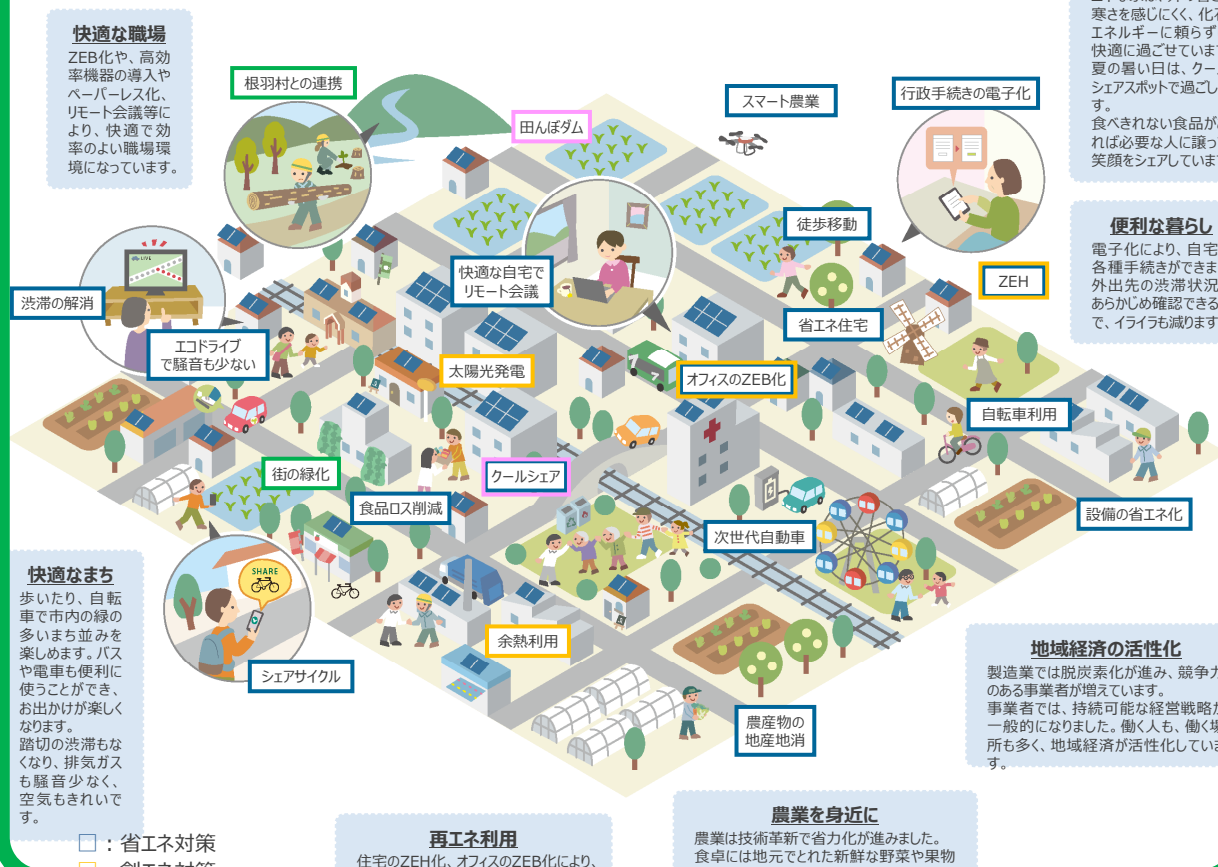
▶戦略の目的

安全・安心で誰もが住みたくなる魅力あふれるまち（ゼロカーボンシティ）を目指します。

そのために戦略を策定してより力強く地球温暖化対策を実行するため具体的な取組みを示します。

これらの取組みにより、二酸化炭素排出量の削減とともに、地域経済の活性化や快適で豊かな暮らしを実現し、安全・安心で誰もが住みたくなる魅力あふれるまちを目指します。

▶安城市が目指すゼロカーボンシティの姿



快適な暮らし
住宅の省エネ化が進みました。高断熱で省エネな家は、外の暑さ・寒さを感じにくく、化石エネルギーに頼らずに快適に過ごしています。夏の暑い日は、クールシェアスポットで過ごします。食べきれない食品があれば必要な人に譲って、笑顔をシェアしています。

便利な暮らし
電子化により、自宅で各種手続きができます。外出先の渋滞状況をあらかじめ確認できるので、イライラも減ります。

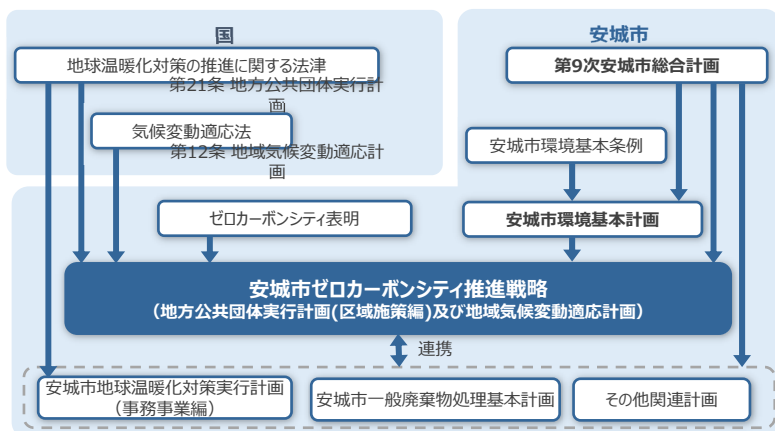
戦略策定の背景

安城市の目指す姿

2. 戦略の位置づけ

▶ 戦略の位置づけ

本戦略は、地球温暖化対策の推進に関する法律及び本市のゼロカーボンシティ表明等に基づき、中長期的に市域の脱炭素化を目指すものです。施策については、本市の他の計画とも連携を図りながら取り組んでいきます。



▶ 戦略の対象は二酸化炭素

温室効果ガスの主成分である二酸化炭素を対象として、5部門に分けて排出量の削減を行うこととしました。

部門	排出源
産業	製造業、農林水産業、建設業・鉱業のエネルギー使用に伴う排出
業務	事務所・ビル、商業・サービス業等のエネルギー使用に伴う排出
家庭	家庭におけるエネルギー使用に伴う排出（自家用車は運輸部門で計上する）
運輸	自動車、鉄道におけるエネルギー使用に伴う排出
一般廃棄物	プラスチックごみ等の焼却に伴う排出

▶ 戦略は緩和策と適応策の2本柱

温室効果ガス排出量を削減するための「緩和」と、気候変動によって既に起きてはじめている被害を防止・軽減するため「適応」に取り組みます。

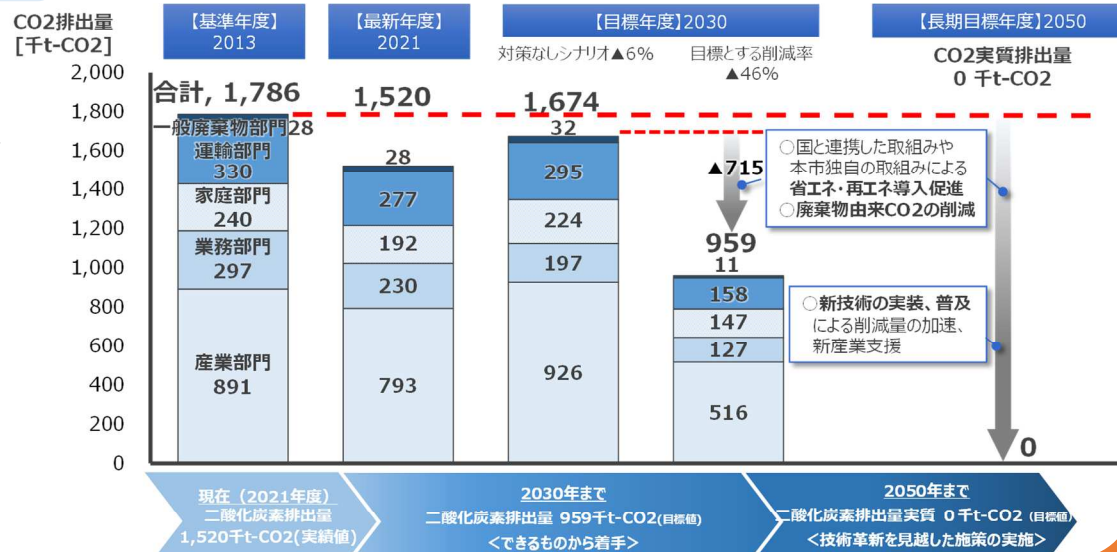
▶ 目標年度（計画期間）

本戦略の目標年度は2030年度です。

▶ 二酸化炭素排出量の削減目標

2030年までに2013年度比で46%以上の削減を目指します。

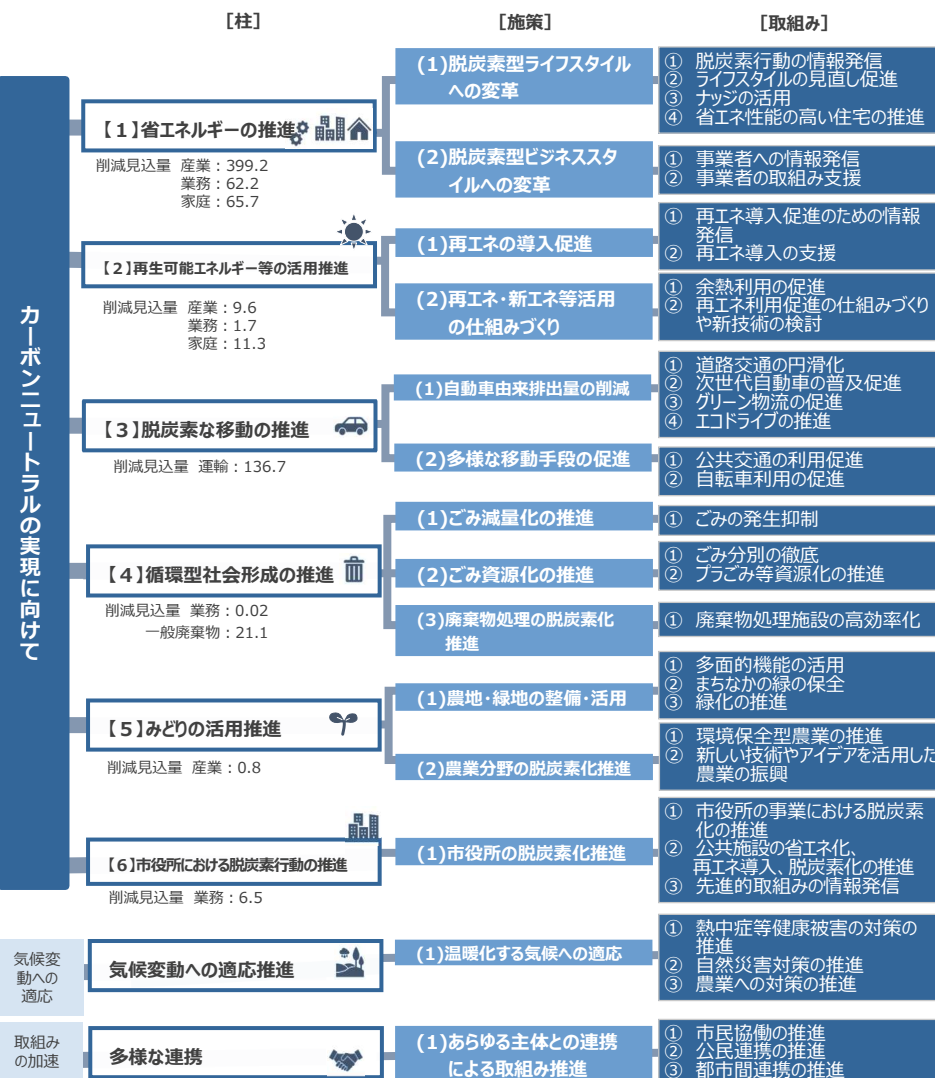
基準年度から最新年度では減少していますが、何も対策しないと経済成長により今後排出量が増えるおそれがあります。そのため、省エネ・再エネ導入等、出来るものから着手し、46%削減を確実に達成します。



3. ゼロカーボンシティ実現に向けた戦略



戦略体系図



【1】省エネルギーの推進

ゼロカーボンシティの実現に向けて、日常生活や事業活動において、一人ひとりがエネルギー使用量を削減することが必要です。省エネ設備や機器類をうまく取り入れることで、快適で豊かな生活や事業活動を行いながら脱炭素につながるような行動を推進します。

【施策】

- 脱炭素型ライフスタイルへの変革
- 脱炭素型ビジネススタイルへの変革

削減見込量（千t-CO₂） 産業：399.2
業務：62.2
家庭：65.7

▶ 脱炭素につながる具体的な行動を発信したり、ライフスタイルを変革する機会を提供します



【2】再生可能エネルギー等の活用推進

日常生活や事業活動においては、エネルギー使用量をゼロにすることはできません。省エネ対策によりエネルギー使用量を減らしたうえで、どうしても必要なエネルギーは再生可能エネルギー等に置き換えて、ゼロカーボンシティの実現を目指します。

【施策】

- 再エネの導入促進
- 再エネ・新エネ等活用の仕組みづくり

削減見込量（千t-CO₂） 産業：9.6
業務：1.7
家庭：11.3

▶ 再エネ導入促進のための情報を発信します



3. ゼロカーボンシティ実現に向けた戦略

【3】脱炭素な移動の推進

私達の暮らしは、自動車普及して便利になった反面、化石燃料を使用して二酸化炭素を発生させるだけではなく、渋滞や騒音等の社会問題や運動不足等の問題も生じてさせています。安全で快適なまちであるために、移動も脱炭素化を推進します。

▶自動車由来の排出量の削減を進めます



【4】循環型社会形成の推進

ごみ処理の過程では多くのエネルギーを使用しています。ごみの減量化、資源化により、廃棄されるものをできるだけ少なくするという循環型社会の形成を促進します。また、廃棄物処理施設の高効率化により、エネルギーの使用量を減らします。

- 【施策】
- ごみ減量化の推進
 - ごみ資源化の推進
 - 廃棄物処理の脱炭素化推進

削減見込量（千t-CO₂） 業務：0.02
一般廃棄物：21.1

【5】みどりの活用推進

農地は作物を生産する場であるとともに、生き物のすみかであったり、四季の変化で目を楽しませてくれたり、あるいは豪雨時の水害を緩和する等、多面的な機能をもっています。農業が盛んであるという本市の特徴を活かしながら、温暖化対策やスマート農業を進めていきます。

- 【施策】
- 農地・緑地の整備・活用
 - 農業分野の脱炭素化推進

削減見込量（千t-CO₂） 産業：0.8

【6】市役所における脱炭素行動の推進

市役所も本市の1事業者です。市民、事業者の意識改革、行動変容につながる取組みを進めるとともに、市役所自らも脱炭素につながる姿勢や、行動を示すことで、ゼロカーボンシティ実現を先導します。

- 【施策】
- 市役所の脱炭素化推進

削減見込量（千t-CO₂） 業務：6.5

気候変動への適応推進

地球温暖化の進行による気候変動の影響は既に現れています。ゼロカーボンシティの実現を目指すとともに、気候変動に対して私たちの暮らしを適応させていくことで市民が安全で健康に暮らせるまちの形成を推進します。

- 【施策】
- 温暖化する気候への適応

【戦略全般】多様な連携

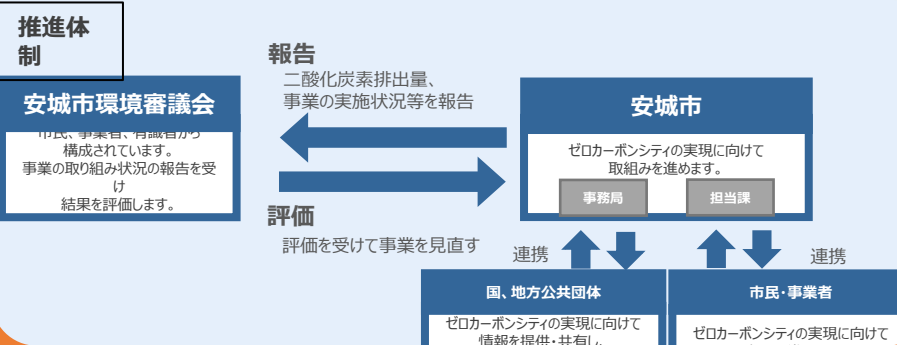
市内の各主体との連携のほか、市域を越えた連携により、ゼロカーボンシティの実現を目指します。

- 【施策】
- あらゆる主体との連携による取組み推進

進捗管理

市が実施する事業をもとに「アクションプラン」を作成・公表します。

「アクションプラン」の実施状況を取りまとめた「環境報告書」を作成し、安城市環境審議会へ報告し、進捗状況を評価していただきます。必要に応じて事業の見直しを行い、本戦略の実効性を高めていきます。



4 答申書（案）について

令和7年3月14日

（案）

安城市長 三星元人様

安城市環境審議会

会長 石川伸男

安城市ゼロカーボンシティ推進戦略の策定について（答申）

令和5年10月24日付け環境第8号で諮問のありました安城市ゼロカーボンシティ推進戦略の策定について、慎重に審議した結果、別添のとおり取りまとめましたので答申します。

本市の二酸化炭素排出量の削減等に資する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、各主体となる市民・事業者・行政がそれぞれの役割を果たし協働することで、本戦略に示す取組みを進め、理想とするまちの姿「ゼロカーボンシティ」が実現することを要望します。

【資料1-5】



5 公表について

日付	実施項目	実施内容
3月14日	第3回安城市環境審議会	パブリックコメント結果提示・答申
3月中	施行・公表	—

